

平成27年度 第1回東区まちづくり懇話会議事録(要旨)

- 1 開催日時
平成27年 6月29日(月) 午前9時30分～午前11時50分
- 2 会場
熊本市東区役所1階 101・102会議室
- 3 出席委員(順不同)
澤田委員、的場委員、村上委員、吉田委員、竹本委員、松尾委員、
宮崎委員、餅崎委員、松瀬委員、佐土原委員、西原委員、松永委員、
古嶋委員、水谷委員、竹山委員、穂園委員、山田委員、伊志嶺委員
18名出席
- 4 議事
 - (1) 会長選出
 - (2) 副会長選出
 - (3) 東区まちづくり懇話会の概要について
 - (4) 東区まちづくりビジョンについて
 - (5) 平成27年度東区まちづくり推進経費について
- 5 その他
 - ・新総合計画策定について
- 6 閉 会

議 事

(1) 会長選任

- 会長選出については、熊本県立大学総合管理学部准教授 澤田道夫氏を推薦
異議なし

(2) 副会長選任

- 副会長選出については、東区民生委員児童委員協議会監事 松瀬美智子氏を推薦
異議なし

(3) 東区まちづくり懇話会の概要について

○会長

議事(3) 東区まちづくり懇話会の概要に移る。
東区まちづくり懇話会の概要について事務局より説明をお願いします。

■事務局

東区まちづくり懇話会概要説明

- 資料1「熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱」
- 資料2「東区まちづくり懇話会のイメージ」
- 資料3「東区まちづくり懇話会スケジュール(予定)」

○会長

事務局から説明のあった東区まちづくり懇話会の概要について意見、質問はないか。

○委員

説明のあった懇話会スケジュール以外で、会議等はあるのか。

■事務局

説明以外の会議等は計画していない。

○会長

基本的にこのスケジュール通りに進める。但し必要に応じて作業部会を設置した場合によっては、臨時会を開催することもありえる。

(4) 東区まちづくりビジョンについて

○会長

議事(4) 東区まちづくりビジョンに移る。
東区まちづくりビジョンについて事務局より説明をお願いします。

■事務局

東区まちづくりビジョン説明
別冊「熊本市東区まちづくりビジョン概要版」

○会長

事務局から説明のあった東区まちづくりビジョンについて意見、質問はないか。

○委員

目標年次は平成34年度とのことであるが、何か具体的な指標はあるか。

■事務局

特に定めていない。東区まちづくりビジョンに「めざす区の姿」を示しており、5つの基本方針、それぞれの重点的テーマに取り組んでいく。

具体的な事業については、区長から提案し、懇話会で協議いただき、その結果を反映させることとしている。

○委員

指標がなければ、目標達成度がわかりにくいのではないか。また、結果をどう評価するのか。

■事務局

現状において、東区まちづくりビジョンに具体的な指標はない。目標年次まで毎年この懇話会の中で報告を行い、「めざす区の姿」が基本方針に基づき、どのように進められているのか、その方向性、必要性を検証していただき、懇話会の意見をふまえて今後の事業展開を進めていきたいと考えている。毎年、ローリングしながら、10年後どうであったかを評価する必要があると思う。そのうえで10年後にビジョンの見直しを行うものと考えている。

○委員

ソフト面だけで、ハード面には取り組まないのか。

■事務局

東区のまちづくりを進めるうえで、まちづくりビジョンに基づく事業というのは、ソフト事業のみである。道路や公園の整備といったハード面については、本庁の主務課が担っており、住民の皆様から区役所に頂いた意見等については、担当部局へつないでいくかたちになる。

○委員

要望は可能ということか。

■事務局

可能である。

○会長

昨年度、区役所のあり方について検討が行われ私も関わった。まず区の方で独自の予算を確保し、まちづくりのソフト事業は区役所を中心に行う。ハード整備については土木センター等、様々な部署での対応になるが、区民の要望等については、区役所が窓口になり本庁へつなぎ意見を反映させるシステムを作っていくこととなった。本年度以降そういったシステムで動き出すことになると思う。

ですから、懇話会で協議するのは、基本的にソフト事業ということになる。ただし、懇話会に出された意見については区長へ報告し、こういったものが必要だと市全体で考えを共有していく流れになる。

○委員

歴史が好きな他県の方などは、四時軒に興味を持っている。また、「あさひば」（秋津、桜木、桜木東、若葉）校区で年に1回、横井小楠公園で墓前祭を行っているが、四時軒を見学する方も、横井小楠の公園があることを知らないのではないか。この公園を整備し、どちらも見学したくなるようにすれば、東区において特徴的なものになると思う。懇話会へこのような提案についても行っていいのか。

○会長

東区内の視察を行い、意見提案をいただくこととしている。只今の様な意見についても東区のまちづくりを進めるうえで必要なことであり、どんどん提案してほしい。ソフト面については、対応可能なものがあると思う。ハード面の整備等については、主務課等へ懇話会の意見として出していくかたちになる。

■事務局

会長の話にあったとおり、様々な意見をいただきたい。区で予算執行権限があるものについては、対応可能なものから取り組みたい。ハード面の整備等の予算

執行権限のないものについては、主務課へつないでいく。

○委員

東区の課題の中で、自治会加入率の減少が東区の活性化を鈍らせているのではないか。自治会加入を促進するまちづくりをしなければならない。加入減少の原因を調べてほしい。その結果を踏まえ協議してはどうか。

○会長

東区まちづくりビジョン策定時の課題、その後2年間の懇話会の対応等を整理したうえで、現在の東区の課題を出していただき、どう対応していくべきか一緒に考えたい。

○委員

東区まちづくりビジョンに5つの基本方針があり、懇話会提案で実現出来たもの、出来なかったものがあると思う。前懇話会での協議内容等について教えてほしい。

○会長

懇話会報告書を配布しているが、今後、前懇話会の振り返りも行っていく。

(5) 平成27年度東区まちづくり推進経費について

○会長

議事(5)平成27年度東区まちづくり推進経費に移る。

平成27年度東区まちづくり推進経費について事務局より説明をお願いする。

■事務局

平成27年度東区まちづくり推進経費説明 資料4

- ・東区民まつり開催経費
- ・地域情報受発信充実事業
- ・地域防災合同訓練事業
- ・子どもの遊びプランナー養成事業
- ・まちづくり懇話会開催費
- ・東区区政モニター事業
- ・東区校区マップデータ作成経費
- ・東区民文化スポーツ交流事業
- ・地域コミュニティづくり支援補助金
- ・東区の歴史学習講座

- ・安全安心のまちづくり事業
- ・フットパス in 秋津
- ・地域課題検討会改善策実施経費
- ・東区健康まちづくりサポーター養成事業
- ・校区単位の子育てネットワーク推進のためのマップ作成
- ・東区スマートライフプロジェクト事業
- ・高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり
- ・東区若手農業者ネットワークづくり推進経費

○会長

事務局から説明のあった平成 27 年度東区まちづくり推進経費について意見、質問はないか。

○副会長

「高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり」について質問したい。校区での徘徊訓練とのことであるが、昨年度は西原校区で実施したとのことであるが、今年度の予定を教えてほしい。

■事務局

長嶺校区で 11 月下旬の実施を予定している。

○副会長

年間に 1 校区開催ということか。

■事務局

年間に 1 校区で計画している。

○副会長

市の民生委員の会長会で大牟田市へ視察を行った。大牟田市では、安心して徘徊できるまちづくりを目指しており衝撃を受けた。70%の方が町内会に加入していないため、民生委員も行政も対応に苦慮しているとのことであった。高齢化率が日本一であり、10 年前から安心して徘徊できるまちづくりを始めしており、全 21 校区の各校区が毎年 1 回訓練を開催している。東区でも各校区が年 1 回訓練を開催出来る様になればいいと思う。現在の年間 1 校区は少ないのではないか。低予算で開催可能であれば、年間 2 校区出来ないだろうか。

■事務局

今年度は予算の都合もあるので対応出来ないが、今後については検討させていただきたい。

○会長

パイロット的に数回開催すれば要領も判り、複数校区をまたいで開催も可能になってくると思う。今後については検討していただきたい。

○委員

安全安心のまちづくりについてであるが、防犯上、空家が問題となる。今後、空家対策についても考えていただきたい。

■事務局

まちづくり推進課には環境班があり、空家についても無関係ではない。空家問題については、市の建築計画課が中心となり、関係課と連携を取りながら対応している。

○委員

たくま三山会では、必要に応じて東区職員にも参加してもらいながら資料作りを行い、反省会なども行っている。他地区からも参加いただいております、同じ東区として一緒になって取り組んでいければと考えている。

○会長

行政にすべて任せるとはではなく、地域で出来ることは地域で取り組んでおり、参考にしたい。

○委員

先程、東区まちづくり推進経費の話があったが、商工関係について対応するものは特にならぬようだ。東区には対応する部署はないのか。

■事務局

東区に対応する部署はない。東区内には託麻以外に健軍、尾ノ上、長嶺といった商店街があり、区役所開設後に話をさせていただいたところである。今後も連携を図りながら、まちづくりを進めていきたいと考えている。担当部署ではないが、まちづくりの一環としてまちづくり推進課で関わりを持たせていただきたい。

○会長

まちづくり推進経費については、まちづくりの観点で、必要な事業についての意見を出していただき計画を練ることになる。ぜひ来年度予算で取り組める意見をお願いしたい。

○委員

商工関係について、区に窓口がないというのはどういうことか。

■事務局

区に頂いた意見については、本庁へつなぎ対応することになる。

○委員

商工や観光関係は大事な部門であり、直接的な対応が必要ではないか。

■事務局

商工関係以外にも、区に直接的な窓口がない部門はあるが、一切話を聞かないということではなく、話を聞いたうえで担当部署へつなぎ、連携しながら対応している。

先程、会長の話にあったが「区役所のあり方」について検討を行っており、今後、組織を含めて議論が進むものと考えている。

ただ現状において、対応部署を増やすという方向性は難しい面もあり、本庁と区役所の連携を強化し対応して行く方向性もあると思う。

○委員

ごみ問題について、婦人会では地球温暖化対策としてレジ袋削減に取り組んでおり、ねんりんピックの際にマイバッグを5000枚作成し配布した。熊本市の敬老の集いでは、アクリルたわしを800枚作成し配布した。ゴミ削減につながると思う。

可燃物、不燃物のごみ袋の文字の色が青と緑になっているが、高齢者には色が判別しづらい方もいる。ごみ袋を誤って使用した場合、収集はされるのか。

また、ごみ袋の文字の色は青と赤などなるべく判別しやすい色に出来ないのか。

■事務局

ごみ袋を誤って使用した場合は、収集されない。袋の文字の色については、只今の意見を主務課へ伝える。

○会長

他に何か意見はないか。

○委員

私は地域の自治協会議に参加しているが、現在、子ども会離れが進んでおり人集めに苦勞していると聞く。原因は、役員をするのが大変だから子ども会に入らない。入らなくても別に問題ないという考え方の人が増えてきているからと聞いている。子ども会関係の活動について相談をする窓口が区役所に必要ではないか。実際のところ熊本市の子ども会育成協議会へ行けば情報を得ることは出来るが、若いお母さんたちが区役所に来ることによって区役所の雰囲気が変わったり、区役所では様々な情報が得られるということを知ることができる。外部団体と連携を図ることも重要と思う。また、将来を見据え子ども達を地域で育てるということは大事なことだと思う。

○委員

子どもと防災を結び付けてはどうだろうか。各地域に公園があると思うが、公園は災害時の避難場所でもある。例えば、野外活動等を通して、食べられる草を教えたり、水の確保の仕方やロープの使い方など子供達の身近な遊びを通じた訓練を定期的で開催することで、災害時にもさっと動けるようになるのではないか。

○会長

ありがとうございました。

○会長

「その他」新総合計画策定について事務局から説明をお願いします。

■事務局（政策企画課）

新総合計画策定について 説明

○会長

新総合計画について説明があったが、熊本市の将来像について委員の皆さんから意見をいただきたい。

○委員

京都のように昔ながらの環境を保つこともよいのではないだろうか。必ずし

も都市化することだけが重要ではないと思う。

○委員

先日、市で開催されたワークショップに参加したが、その際様々な年代の方と話をすることで自分にはない考え方を知った。その中で、熊本に働きたいと思えるところがなければ、熊本に残りたいと思わないのではないかという意見があった。確かに若い人の力が地域の中に入っていくためには、魅了のある働く場所を増やす必要があるのではないだろうか。

○委員

現在日本は人口減少社会に入っており、市民サービスの質の低下につながったりするのではないかと危惧している。

○会長

委員の意見にあった「働く場所」「人口減少」についても新総合計画の中で取り上げていただきたい。

○委員

先程、子ども会の話があったが、子どもが主体ではなく、大人が主体になっており、結局子どもが大人にさせられているものになっている。子どもが主体となって考えていかなければ、やらされているものはいつか衰退してしまう。20代、30代の若い人達を様々なフィールドへ引っ張り出して、世代間の意見交流を行い、まちづくりの案を練っていくことも必要だと思う。

○委員

高齢者の支援は当然必要であると思うが、若い人に関する支援については、最初からの支援ではなく、自分で出来ることをやったうえでの「支援」であるべきと思う。

○委員

計画を作るのであれば、東区のビジョンも見直していただきたい。熊本市の将来を見据えて、熊本のアイデンティティはこうだと言えるまちづくりをしていただきたい。例えば、新幹線や高速道路は鹿児島がやるので、熊本はやらなくてもいい。熊本市には誇れるものがあるといいながら、何があるのだろうか。地下水源を使って生活している都市はないが、それを誇りに思っていない。誇りが持てるものを発掘していただきたい。四時軒など資源はたくさんあるが、

個々ばらばらになっており誇れない。そういったものを総合融合化すれば、皆が誇れる熊本市になるのではないか。

最近、子どもが公園で遊ばなくなった。観察してみると草が10cm程伸びていると遊ばない。草を刈ると遊ぶようになる。また、ブランコを設置すると遊ぶようになる。そういった少しの工夫で現状を変えていくことができる。公園は未来を担う子ども達の宝だと思う。ぜひ公園に子ども達が溢れる熊本市にしていきたい。

○委員

私は神奈川県出身であるが、驚いたのは、都心の公園では、走ってはいけない、ボール遊びしてはいけない、池に入ってはいけないとなっているが、江津湖では子ども達が普通に泳いでいる。また、江津湖には絶滅危惧種も生息している。こういったものを残していきたい。

○会長

様々なご意見ありがとうございました。この意見をふまえて新総合計画を進めていただきたい。

○会長

事務局から何かあるか。

■事務局

次回の懇話会の開催は、7月下旬から8月上旬に区内視察を予定している。

○会長

本日の議事についてはこれで終了する。